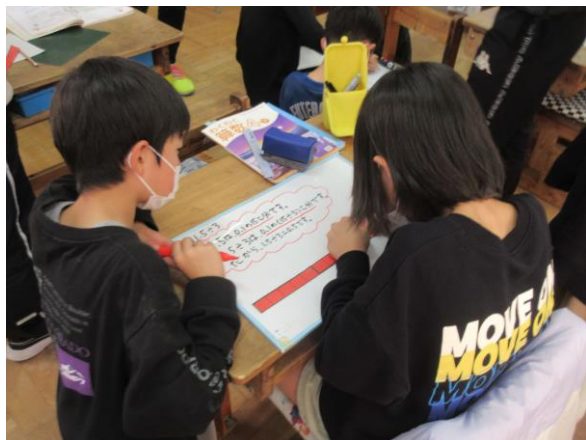




令和6年度全国学力・学習状況調査

丹波市の調査結果の概要



丹波市教育委員会

本年4月18日、全国の小学6年生と中学3年生を対象に、全国学力・学習状況調査が実施されました。この調査の目的は、児童生徒の学力・学習状況进行分析し、学習意欲を高め、学習内容の定着を図るための授業改善をすることにあります。

丹波市では、学校が児童生徒にとって安心できる居場所となるために、一人ひとりが「わかった」「できた」と実感できる授業や、すべての児童生徒が学習に主体的に取り組み、友だちと協働しながら活躍できる授業を展開する必要があると考えています。そのためには、教職員が児童生徒の学習の達成状況を的確に把握し、一人ひとりのよさや可能性を伸ばし、活かすことが必要になります。この調査結果から児童生徒の学力や学習状況の課題をとらえ、指導の改善・充実に取り組んでいきます。



1 家族全員で、規則正しい生活を心がけましょう。

2 家庭学習を習慣化させましょう。

3 TVやゲーム、スマホ・タブレットの使用について、家庭ルールを作りましょう。

4 文章を読む機会を増やしましょう。

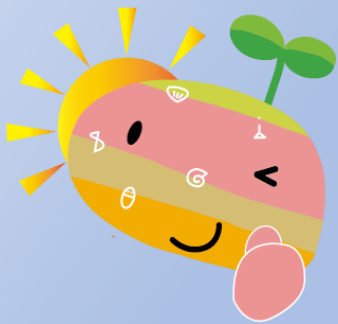
5 がんばりを認め、笑顔でほめましょう。

6 学校や勉強のこと、仕事や社会の出来事などについて、子どもと話をしましょう。

7 地域の行事に進んで参加・参画させましょう。

家庭・地域・学校で
学力を育む

7 つの提案！



家庭・地域・学校で学力を育む7つの提案！

①家族全員で、規則正しい生活を心がけましょう。

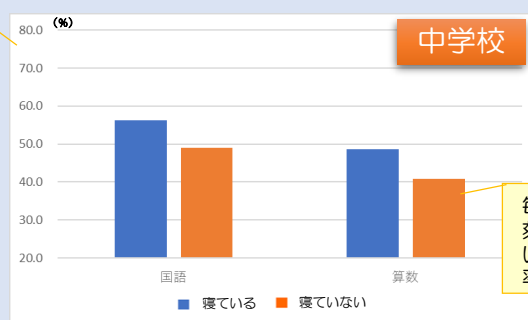
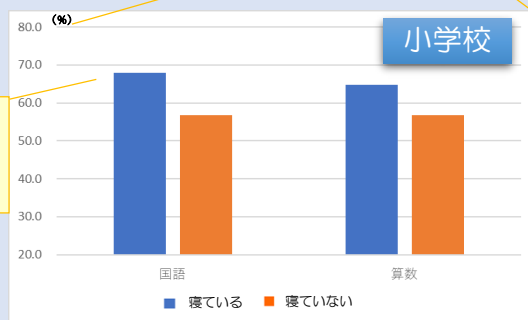
「早寝・早起き・朝ごはん」



「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」児童生徒の各教科の平均正答率が高い。

各グラフの縦軸（％）は平均正答率の割合です。

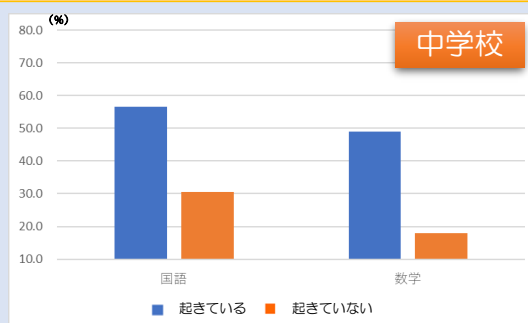
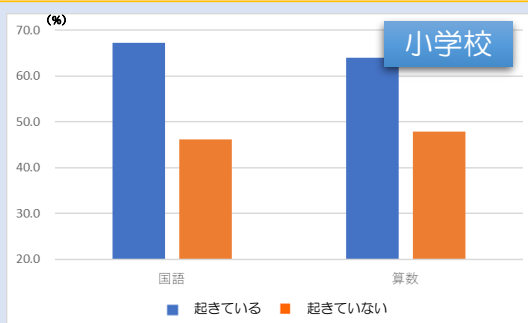
毎日、同じ時刻に寝ている児童の正答率（青色）



毎日、同じ時刻に寝ていない生徒の正答率（オレンジ色）



「毎日、同じくらいの時刻に起きている」児童生徒の各教科の平均正答率が高い。

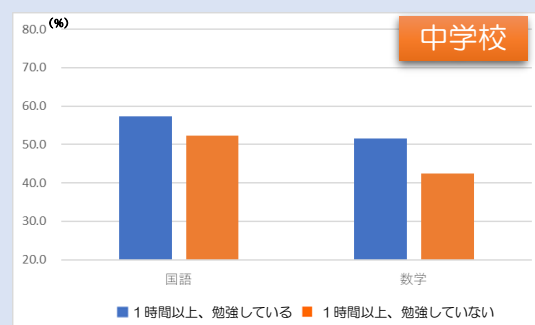
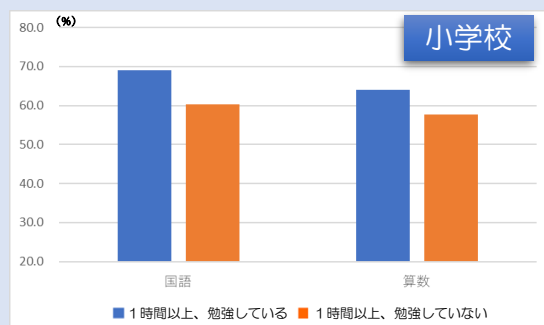


規則正しい生活ができるようにしましょう。睡眠や食事を、ほぼ毎日同じリズムで生活することで、学習習慣にも好影響がみられます。

②家庭学習を習慣化させましょう。



「学校の授業時間以外に、普段（月～金）、1日1時間以上勉強している（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）」児童生徒の各教科の平均正答率が高い。

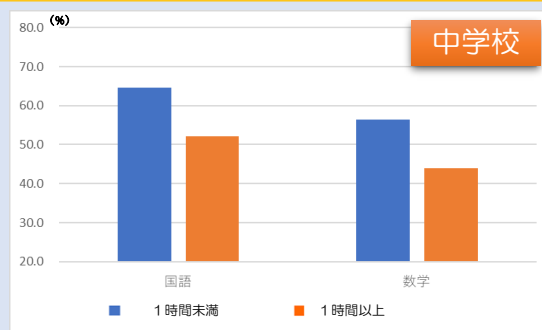
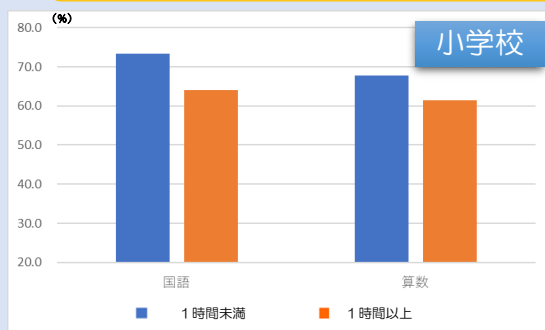


宿題があるから勉強するのではなく、毎日、自分で考えて計画的に勉強することが学力向上には重要です。

③TVやゲーム、スマホ・タブレットの使用について、家庭ルールをつくりましょう。



「**普段(月～金)テレビゲーム(PCゲーム、スマホを使ったゲーム含む)を1日1時間までに行っている**」と回答した児童生徒の各教科の平均正答率が高い。

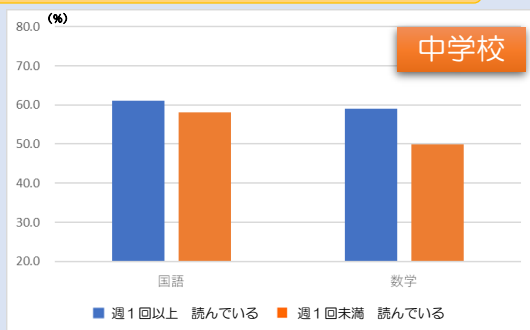
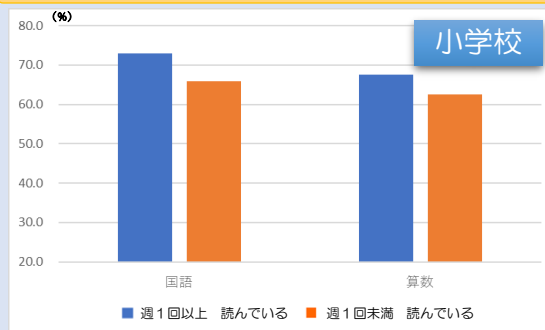


大人が一方向的に決めるのではなく、子ども自身も納得したルールにすることで、前向きにルールを守ろうとします。テレビやゲームの時間や場所などを親子で対話しながら、決めましょう。

④文章を読む機会を増やしましょう。



「**新聞を読んでいる**」と回答した児童生徒の各教科の平均正答率が高い。

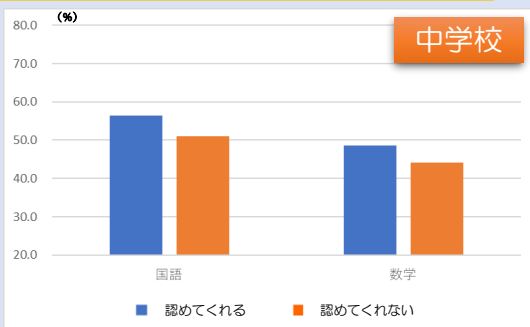
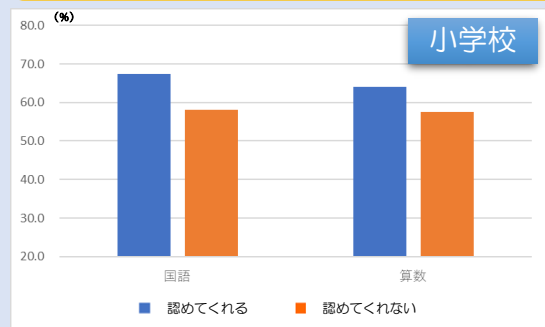


新聞を読んだり、本を読んだりする習慣をつけることは、知識を増やし、読解力を向上させることにつながります。興味・関心のある新聞記事や本を探してみてもいいでしょう。

⑤がんばりを認め、笑顔でほめましょう。



「**先生は、あなたのよいところを認めてくれる**」と回答した児童生徒の各教科の平均正答率が高い。



子どもたちとの対話を通して、ほめたり、認めたりすることで、自己肯定感が高まり、自分を大切にできるようになります。会話の中からほめたり、認めたりできることをたくさん見つけましょう。

⑥学校や勉強のこと、仕事や社会の出来事などについて、子どもと話をしましょう。

自分の考えていることは、会話をする中でより深まっていきます。また、普段から会話をしていることで困った時に援助を求めるようになります。

⑦地域の行事に進んで参加・参画させましょう。

地域の行事に参加することで、自分たちの地域を知ることができます。地域の課題を考えたり、子どもたちが主体的に地域をよくするために行動したりすることが大切です。

小学校国語



物語を読んで心に残ったところとその理由を条件に応じて、まとめて書くことに成果が見られました。

オンラインで交流する場面において、工夫した伝え方を捉えることに課題が見られました。

(課題の見られた問題例)

深緑小学校 村木さん 海風小学校 和田さん

② はじめまして。深緑小学校の村木です。今日は、とても楽しみにしていました。

① はじめまして。海風小学校の和田です。よろしくお願いします。

③ メールありがとうございます。図書委員会のことを知りたいということでしたので、まず、海風小学校の図書委員会の取り組みのようかいで、読書イベントが、月に1回、図書委員会で、クイズなどをして、私もそれに参加して、今まで読んだことがない分野の本を読みました。

④ せっかく教えてもらったのですが、だれが何をしているのかが分からなくなったので、もう一度教えてもらえませんか。

⑤ 説明がよくなかったですね。話し方を変えますね。図書委員会が、月に1回、クイズなどの読書イベントをしてくれます。私もクイズに参加しました。今まで読んだことがない分野の本を読むことができました。

⑥ よく分かりました。おもしろそうですね。

「オンライン交流の様子の一部」

- 言葉の順序に気を付けて短い文で話したほうがよいことに気づいたから。
 - 相手に応じて敬語を使ったほうがよいことに気づいたから。
 - まちがった情報をすぐに直したほうがよいことに気づいたから。
 - 同じ音で異なる意味をもつ言葉を使わないほうがよいことに気づいたから。
- (1) 和田さんは、村木さんの発言④を受けて、発言⑤の話し方を発言⑥のように変えました。その番号を書きましょう。

【R6年度全国学力・学習状況調査
小学校国語より抜粋】

話し言葉と書き言葉との違いに気付くことができるかどうかを見る問題。

【課題】

○話し方を変えた理由として、言葉の順序に気を付けた方がよいこと、短い文で話した方がよいことを捉えることに課題が見られました。また、発言③の伝わりづらさが、発言⑤でどのように改善されたかを捉えられていない児童が多いという課題は、「読むこと」に関連した課題とも考えられます。

【今後の学習の中で】

☆子どもたちにとって、必要感や必然性のある、話す活動、聞く活動、話し合う活動を設定し、動画などを活用したモデルを使って、子どもたちに目的に応じた話し方や聞き方、話し合いの仕方を具体的にイメージさせる授業づくりを推進します。

小学校算数

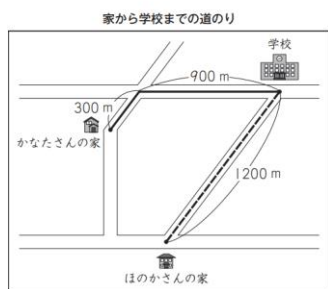


除法の計算問題など、基礎的・基本的な計算技能について成果が見られました。

課題解決に向けて、言葉や図、式を使って説明する等、表現することに課題が見られました。

(課題の見られた問題例)

(3) かなたさんとほのかさんは、それぞれの家から学校まで歩いて行きました。



家から学校までの道のりは、上の図のとおりです。

家から学校まで、かなたさんは20分間、ほのかさんは24分かかりました。

それぞれの家から学校までの歩く速さを比べると、かなたさんとほのかさんのどちらが速いですか。

下の 1 と 2 から選んで、その番号を書きましょう。

また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- かなたさん
- ほのかさん

【R6年度全国学力・学習状況調査
小学校算数より抜粋】

家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる二人の速さについて、どちらが速いかを判断し、そのわけを書く問題

【課題】

○多くの児童が道のりの等しさに気づくことができていました。しかし、かかった時間にも着目して判断した理由が書けていませんでした。

また、1分あたりの速さを基にする方法で解答した児童は少数でした。

【今後の学習の中で】

☆課題解決における過程において、先生が説明するばかりではなく、児童一人一人が式・言葉・数・図等に関連づけながら説明をする場を設定します。

☆友だちに自分の考えを説明したり、多様な考え方をを見つけたりするなど、個別最適な学びと協働的な学びの一体的に充実した授業づくりを推進します。

中学校国語



物語を創作する際に、目的や意図に応じて、題材を決め、伝えたいことを考えることに成果が見られました。

自分が工夫した表現について、どのような効果があるのか説明することに課題が見られました。

(課題の見られた問題例)

イ

ア

あの日から数日が過ぎた。

【課題の見える書き】

① あの日も僕は、君の部屋の本棚の隅でじっと待っていた。ほこりだらけになりながら、中学生になってから、君はオンライン辞書を使うようになった。以前はよく、印を付けたリ、書き込みをしたりしてくれていた。君の距離は、ずいぶん遠くになってしまった。

② インターネットだと、複数の辞書にアクセスできるから、タブレット端末だけを持ち運べばよい。単語を入力すれば、すぐに知りたいことが教えてくれる。かえばいいし、君にとっては、とても便利なのだろう。僕なんて、このまま忘れられてしまうのか。

③ そう考えていたとき、君は僕の手を握った。学校にタブレットを置いてきたのだろうか、又しびれた。僕がびっくりし、君はこりて大きくしめををした。はこりだの僕に顔をしかめたけれど、何度もページを繰っては、いろいろな言葉の意味を調べていた。当然、いつもよりは時間がかかっている。調べなければならぬ言葉だけでなく、近くにある言葉にも顔を引き、意味を確認する君。意味調べが終わっても、君は僕をいつもの場所に戻さなかった。しばらくページを繰り、小学生のときに印を付けた言葉や書き込んだ言葉を読み返していた。君は「あたりた表現をして、僕は自分が認められたような気がした。」

【R6年度全国学力・学習状況調査中学校国語より抜粋】

表現を工夫して物語の最後の場面を書き、工夫した表現の効果を説明する問題

【課題】

○多くの生徒が、アの「あの日から数日が過ぎた」に適切に続くように、物語の最後まで書いていました。しかし、イの自分が工夫した表現について、どのような効果があるのか説明することに課題が見られました。

【今後の学習の中で】

- ☆自分の思いや考えが他者に伝わる文章にするために、表現の効果を意識して工夫した文章を書く学習活動を推進します。
- ☆友だちや先生等に自分の伝えたいことが伝わる描写になっているか推敲する学習活動を設定します。

中学校数学



1次関数におけるグラフの読み取りについて成果が見られました。

数学的な表現を用いて「説明すること」に課題が見られました。

(課題の見られた問題例)

- 9 線分ABがあります。線分AB上に点Cをとり、AC、CBをそれぞれ1辺とする正三角形PAC、QCBを、線分ABについて同じ側につくります。そして、点Aと点Q、点Bと点Pを結びます。ただし、点Cは点A、Bと重ならないものとします。
- 桃子さんは次の図1のように点Cをとり、健太さんは次の図2のように線分ABの中点に点Cをとりました。

図1

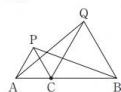
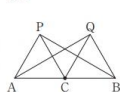
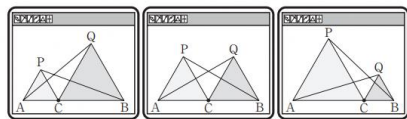


図2

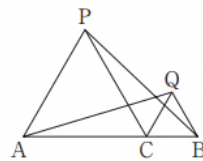


二人は図1と図2を観察し、線分や角についていえることがないか気になりました。そこで、コンピュータを使って点Cを動かしながら調べました。



- (1) 桃子さんは、コンピュータを使って調べたことから、点Cが線分AB上のどこにあっても、 $AQ = PB$ になると予想しました。

桃子さんの予想した $AQ = PB$ がいつでも成り立つことは、 $\triangle QAC \cong \triangle BPC$ を示すことで証明できます。 $AQ = PB$ になることの証明を完成しなさい。



【R6年度全国学力・学習状況調査中学校数学より抜粋】

筋道を立てて考え、証明することができるかどうかをみる問題。

【課題】

- 証明をする過程において、結論である「 $AQ=PB$ 」を用いる等、順序立てた説明に課題が見られました。
- 三角形の合同条件等の知識を実際の証明に活用できていない生徒が多く見られました。

【今後の学習の中で】

- ☆図形に関する見方・考え方を働かせて、課題解決に向けて必要な情報を見つけ、既習の「知識・技能」を関連づけながら、筋道を立てて、結論を導き出すような学習活動を大切に授業づくりを推進します。その中で、友だちと説明し合う等の学習活動を取り入れた学習場面を設定します。